

報告構成案

第 1 部 学校施設のバリアフリー化の加速に向けた推進方策等**第 1 章 学校施設のバリアフリー化の現状と課題等**

1. 学校施設におけるバリアフリー化の加速が必要となる背景等
 - (1) インクルーシブ教育システムの構築の視点
 - (2) 災害時の避難所等地域コミュニティの拠点の視点
 - (3) バリアフリー法の改正
2. 学校施設のバリアフリー化に関するこれまでの取組
3. 学校施設のバリアフリー化に関する現状と課題

第 2 章 学校施設におけるバリアフリー化推進の基本的な考え方と推進方策

1. 学校施設のバリアフリー化推進の基本的な考え方
2. 学校施設のバリアフリー化の推進に係る方策
 - (1) 国における方策
 - ①バリアフリー化の実態を踏まえた整備目標の設定・周知と進捗状況の公表
 - ②学校施設バリアフリー化推進指針及び学校施設整備指針の改訂
 - ③学校施設のバリアフリー化に関する支援の充実
 - ④学校施設のバリアフリー化推進のための普及啓発や技術的支援
 - ⑤学校施設の周辺も含めた面的・一体的なバリアフリー化の推進
 - ⑥学校における心のバリアフリーの推進
 - (2) 学校設置者等における方策
 - ①バリアフリー化の実態を踏まえた整備目標の設定・周知と進捗状況の公表
 - ②学校施設の計画的なバリアフリー化等
 - ③都道府県におけるバリアフリー化推進のための支援

第 2 部 学校施設バリアフリー化推進指針の改訂案 ※現行の指針に対して見え消し修正**第 1 章 学校施設のバリアフリー化等の推進に関する基本的な考え方**

- 1 学校施設のバリアフリー化等の視点
 - (1) 障害のある児童生徒等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるように配慮
 - (2) 学校施設のバリアフリー化等の教育的な意義に配慮
 - (3) 運営面でのサポート体制等との連携を考慮
 - (4) 地域住民の学校教育への参加と生涯学習の場としての利用を考慮
 - (5) 災害時の応急避難場所となることを考慮
- 2 既存学校施設のバリアフリー化の推進
 - (1) 関係者の参画と理解・合意の形成
 - (2) バリアフリー化に関する合理的な整備計画の策定
 - (3) 計画的なバリアフリー化に関する整備の実施

第 2 章 学校施設のバリアフリー化等に係る計画・設計上の留意点

- 1 計画・設計上の基本的留意事項
- 2 わかりやすく、円滑に建物に至ることができる配置計画
- 3 わかりやすく、快適に動きやすい平面計画
- 4 使いやすく、安全で快適な各室計画